

今後の地方創生に資する取り組み

【取組②】2025年大阪・関西万博を契機とした「観光コンテンツ整備」事業

【目的】

本市には、河内音頭、高安能等の伝統文化をはじめ、河内木綿や八尾の枝豆等の伝統産業や特産品、また、豊かな自然や歴史資産など数多くの地域資源が存在する。

しかし、情報発信の手法は、従来型のホームページや市政だよりに依存しており情報発信力は乏しく、訴求力は脆弱である。また、季節的、期間限定の地域資源（お祭りや桜並木など）などあるが、一過性のイベントだけでは周遊性に乏しく、来訪者を増加させる要素として弱いという課題がある。

そのため、デジタル技術を駆使した仮想空間を活用し情報発信をすることで、訴求力を高め、観光地としてブランディングすることで、来訪者が増加し、様々な魅力ある地域資源に触れる人たちがまちがにぎわい、地域経済が活性化し、市民・事業者などの活動が活発になり活気にあふれるまちを目指す。

【概要】

1 観光コンテンツの整備

(1) 観光コンテンツの情報発信

「観光コンテンツの整備」事業では令和5年度に環境整備したオンライン体験型観光コンテンツの周知をインフルエンサーやVチューバーなどを活用し、広域的、効果的に行い、コンテンツへの参加を誘導できる仕組みづくりを行う。

(2) 体験型観光プランへの誘客

体験型観光プランを試験的に実施し、オンライン参加者が参加するよう誘導する仕組みを構築する。また、観光プランの提供を行うことで、発見した課題を解決していくことでオンライン体験型観光コンテンツを含む観光商品のブラッシュアップを行う。

2 八尾の歴史資産の魅力発信

(1) 八尾の歴史体験

令和5年度に作成した歴史資産コンテンツへの誘導を行う。また、国史跡である、心合寺山古墳、高安千塚古墳群、由義寺跡などでは、様々な体験イベントを開催し、八尾の歴史を直接体験してもらう。

※ 期待する効果

(1) デジタル技術の活用で、いつでも・どこにいても本市の魅力に触れることが可能となり、国内外の人への訴求力を高め、効果的な魅力発信と国内外からの来訪者が増加し、活気にあふれるまちになる。

(2) 様々な地域資源を組み合わせることで、観光の周遊性と国内外の人への訴求力を高めるとともに、地域資源に関連する市民や事業者などを巻き込んで観光コンテンツを整備することにより、郷土愛が育まれたまちづくりになる。

【基本目標】

基本目標6「行ってみたい、関わってみたい、住みつづけたい、魅力があふれるまち」